

# 教育相談だより

令和5年10月発行  
勝浦市立勝浦小学校  
教育相談部

子どもたちは心身の成長にともない、さまざまな不安や悩みを抱えるようになります。  
学校では子どもたちのサインにいち早く気づき、サポートできるよう次のような支援を行っています。

## ＜児童による生活アンケートの実施＞

毎月、児童による「生活アンケート」や年2回の「Q.U調査」などを実施し、実施後は担任による全員面接により、一人一人の心配事に早期対応を行っています。

## ＜相談ポストの活用＞

2階の相談室前に「相談ポスト」が設置されています。各階に相談用紙があり、相談内容と相談したい職員を記入し、ポストに投函することでだれでも活用できます。

相談内容についてはしっかり耳を傾け、相談者に応じた対応を心がけています。

## ＜スクールカウンセラーによる全員面接＞

全校児童を対象にスクールカウンセラーによる全員面接を実施しています。

特に思春期に入ると、子どもたちは悩みを口にしないことが多くなります。教職員以外の専門家による相談機会を設けることで、子どもたちのサインの早期発見を行っています。

## ◇スクールカウンセラー(天岩 静子先生)の来校日

**10月6日・27日、11月10日・24日、12月1日、1月12日・26日、2月2日**

## ◇親と子どもの相談員(西川 絵里先生) 毎週火、金に来校

## ～お父さんの話をどのように聞いていますか？～

「聞いているよ」というメッセージを言葉や態度にこめて聞くことで、安心して話すことができます。



あなたの話をもっと聞きたいな・・・

### 《態度》

- ①まず、自分のしていることをやめる。
- ②相手の顔を見る。
- ③最後まで聞く。

### 《言葉》

- ①あいづちをうつ。  
「なるほど」「そうなんだ」「わかるよ」  
「へー」「それはすごいね」
- ②相手の言葉をくりかえす。  
「いやだ！」⇒「いやだったんだね」  
「うれしかったよ」⇒「うれしかったんだ」
- ③質問する。  
「それからどうしたの？」  
「どのようにしたの？」



困難に直面した時、子どもたちは悩みを人に話していく中で、自分の気持ちを整理し、解決に向かって動き出すこともあります。

ちゃんと話を聞いてくれてうれしいな。

